

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公開番号】特開2009-95349(P2009-95349A)

【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2008-268697(P2008-268697)

【国際特許分類】

A 01 K 15/02 (2006.01)

A 01 K 15/00 (2006.01)

【F I】

A 01 K 15/02

A 01 K 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月5日(2011.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動物用車椅子であって、

互いに間隔をあけた第1および第2の側面保持部と、前記第1と第2の側面保持部との間に調節可能に連結する幅延長部材とを備えるハーネス支持フレームと、

第1および第2のナックルクランプ組立部であって、前記第1のナックルクランプ組立部および第2のナックルクランプ組立部の各々は、第1のクランプ構成部と第2のクランプ構成部とを備え、各々の第1のクランプ構成部は、側穴を通して前記第1および第2の側面保持部のうちの1つを支えるための前記側穴を備え、支持フレームの近位端部と支持フレームの遠位端部との間に配置し、各々の第2のクランプ構成部は、回転可能であり、対応する第1のクランプ構成部に調節可能に連結し、クランプのくぼみを有する、第1および第2のナックルクランプ組立部と、

前記ハーネス支持フレームに取り外し可能に取り付けられ、前記第1および第2の側面保持部に沿って配置可能である、複数のハーネスコネクタと、

第1および第2の脚組立部であって、前記第2のクランプ構成部の各々のクランプのくぼみが、前記第1および第2の脚組立部のうちの1つの脚組立部の近位端部を支える、第1および第2の脚組立部と、

第1および第2の車輪であって、前記第1および第2の車輪の各々は、前記第1および第2の脚組立部の遠位端部に隣接した前記第1および第2の脚組立部の予め選択した開口部に配置した別々の車軸に回転可能に連結する、第1および第2の車輪と、

前記ハーネス支持フレームに取り外し可能に連結するハーネス組立部と、を備える、動物用車椅子。

【請求項2】

前記ハーネス支持フレームが、前記支持フレームの遠位端部にて対応する第1および第2の側面保持部に伸縮自在および調節可能に連結する第1および第2の側部延長部材をさらに備える、請求項1に記載の車椅子。

【請求項3】

前記幅延長部材が、前記支持フレームの近位端部にて前記第1および第2の側面保持部

に伸縮自在および調節可能に連結する、請求項 1 または 2 に記載の車椅子。

【請求項 4】

前記第 1 および第 2 の脚組立部が、前記脚組立部の遠位端部にて前記第 1 および第 2 の脚組立部の各々に伸縮自在および調節可能に連結する脚延長部材を備える、請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の車椅子。

【請求項 5】

前記第 1 および第 2 の車輪が、前記第 1 および第 2 の脚組立部の各々の前記脚延長部材に回転可能に連結する、請求項 4 に記載の車椅子。

【請求項 6】

前記第 1 および第 2 の脚組立部が、 $0^{\circ} \sim 10^{\circ}$ の範囲で外側に伸びる角度を有する、請求項 1 から 5 の何れか 1 項に記載の車椅子。

【請求項 7】

前記第 2 のクランプ構成部が、前記第 1 のクランプ構成部に対して 360° 回転する、請求項 1 から 6 の何れか 1 項に記載の車椅子。

【請求項 8】

前記第 2 のクランプ構成部が、前記第 1 のクランプ構成部に対して 360° 未満の所定の角度で回転する、請求項 1 から 6 の何れか 1 項に記載の車椅子。

【請求項 9】

前記第 1 のクランプ構成部および前記第 2 のクランプ構成部が、前記第 2 のクランプ構成部の円周位置に、前記第 1 のクランプ構成部を調節可能に設置するための連結機構を備える、請求項 1 から 8 の何れか 1 項に記載の車椅子。

【請求項 10】

前記第 1 および第 2 の側面保持部の前記側部延長部材を、使用者が選択した伸張部に固定するために、側部固定機構をさらに備える、請求項 2 に記載の車椅子。

【請求項 11】

前記第 1 および第 2 の側面保持部の前記幅延長部材を、使用者が選択した前記第 1 と第 2 の側面保持部の間隔に固定するために、フレーム固定機構をさらに備える、請求項 3 に記載の車椅子。

【請求項 12】

前記第 1 および第 2 のナックルクランプ組立部が、前記第 1 および第 2 の側面保持部に沿って、配置可能で、調節可能である、請求項 1 から 11 の何れか 1 項に記載の車椅子。

【請求項 13】

前記脚組立部の遠位端部に連結し、前記脚組立部から離れた所定の位置に伸びる、足スタビライザーをさらに備える、請求項 1 から 12 の何れか 1 項に記載の車椅子。

【請求項 14】

一端が脚支持部、他端が脚拡張部に連結するショックアブソーバーをさらに備える、請求項 4 に記載の車椅子。

【請求項 15】

前記ハーネス支持フレームの遠位端部に隣接する、前記第 1 と第 2 の側面保持部の上およびその間に連結するスタビライザーバーをさらに備える、請求項 1 から 14 の何れか 1 項に記載の車椅子。